

第42回（H30.冬）佐鳴湖水質調査の結果



平成30年2月 佐鳴湖地域協議会

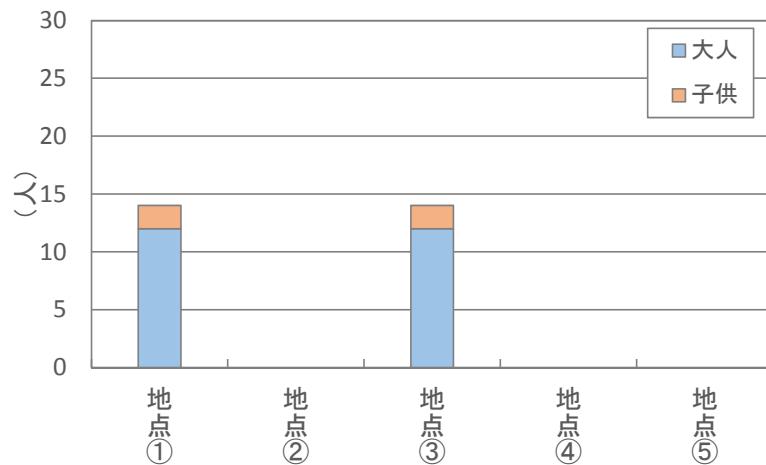
佐鳴湖では、住民の方々にご協力いただき、四季ごとに水のきれいさや生物の豊かさなどを調査しています。平成19年10月から始めたこの調査は、今回で通算42回目となりました。

調査は大きく分けて「アンケート調査」と「簡易水質調査」の2つがあります。「アンケート調査」は、調査地点の水を見たり触れたりしてもらい、評価や感想を回答いただくものです。「簡易水質調査」は現地で簡単な器具を使い、水質をその場ですばやく判定するものです。それらの結果と、静岡県が詳しく測定した水質の調査結果をあわせて、「人と湖沼の豊かなふれあいの確保」や「豊かな生態系の確保」などの視点から、佐鳴湖の環境を評価しています。

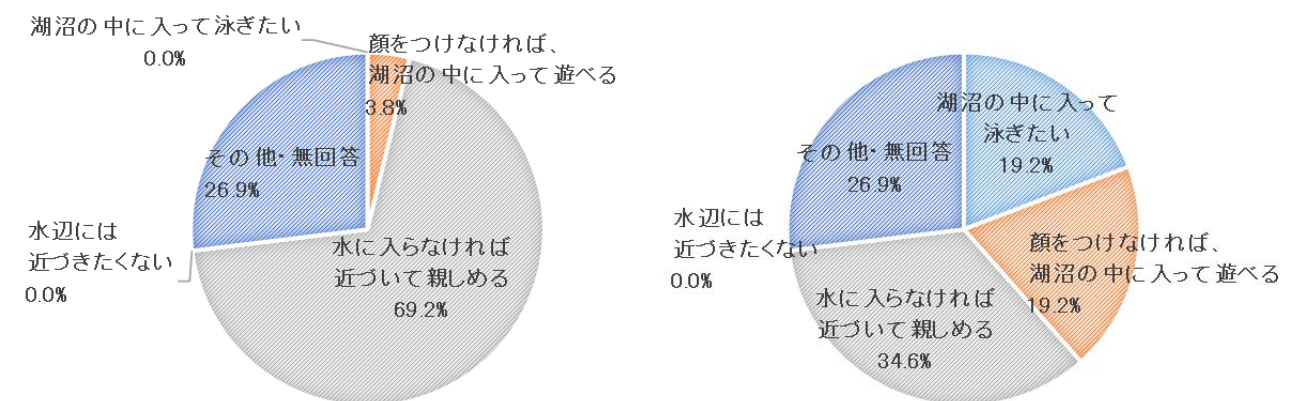
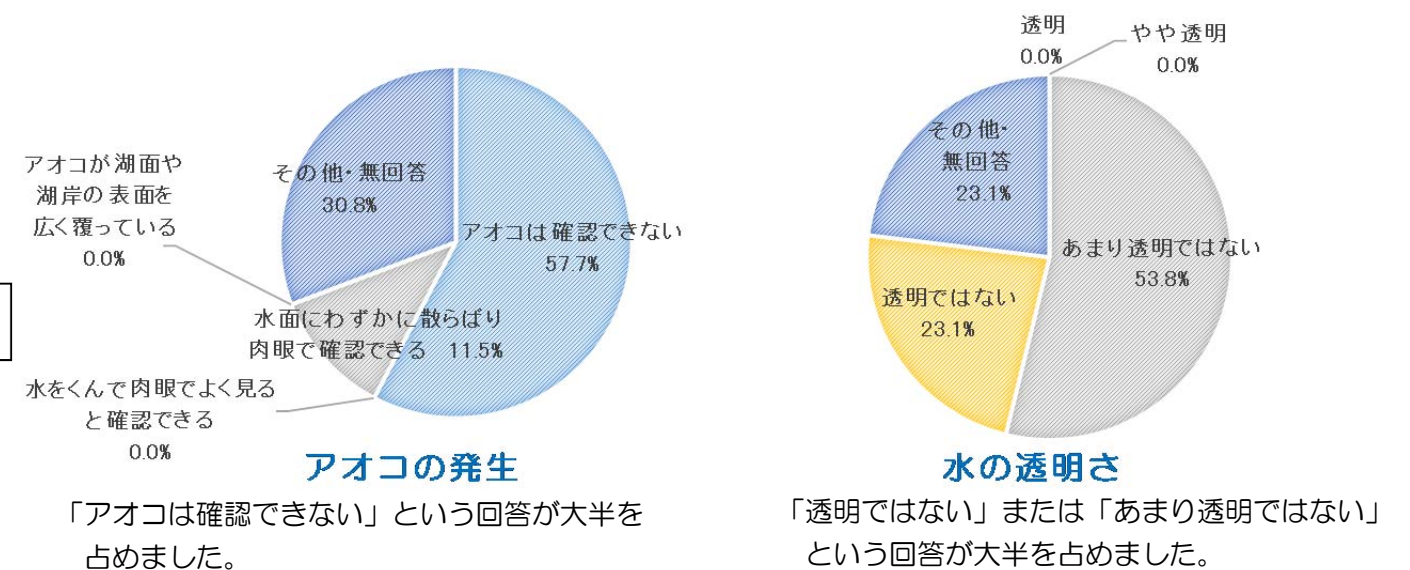
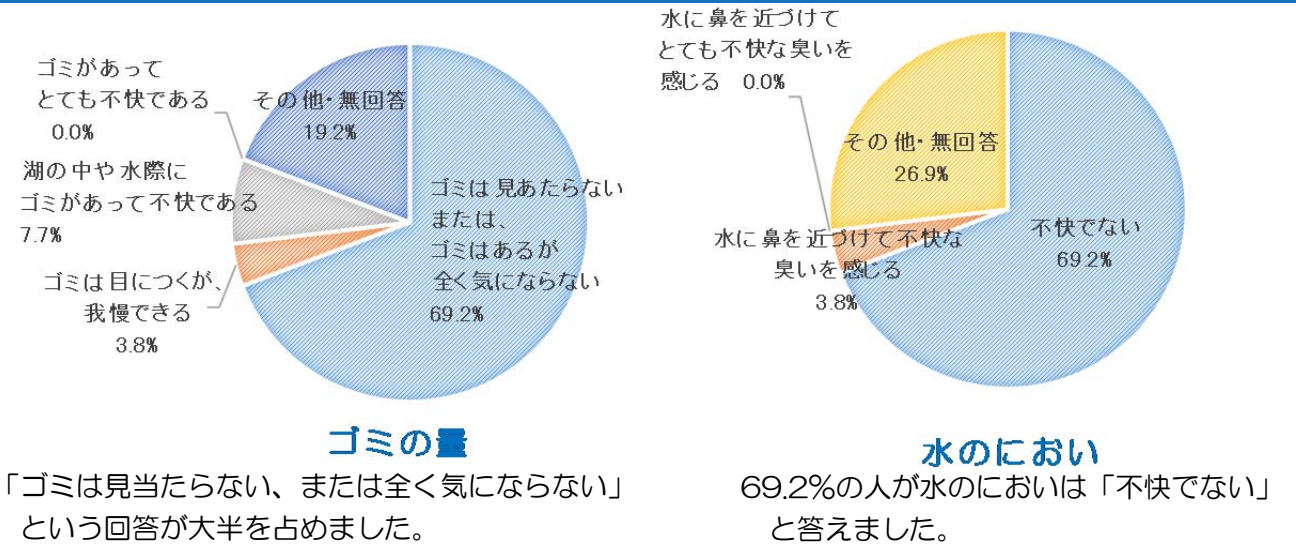
視点	調査の内容	
	アンケート調査	簡易水質調査
人と湖沼の豊かなふれあいの確保	ごみの量、水のおいしさ、湖底の様子、アオコ発生、水辺の音、水の透明さ、水とのふれあいやすさ	透視度、透明度、コケの簡易確認
豊かな生態系の確保	水辺の植生、水生生物	溶存酸素(DO)、アンモニア態窒素(NH ₄ -N)
湖沼の基本的特徴の表現		pH、COD

調査日時：平成30年1月27日（土）
9時～12時
参加人数：14名
(大人12名、子供2名)
調査地点：2地点

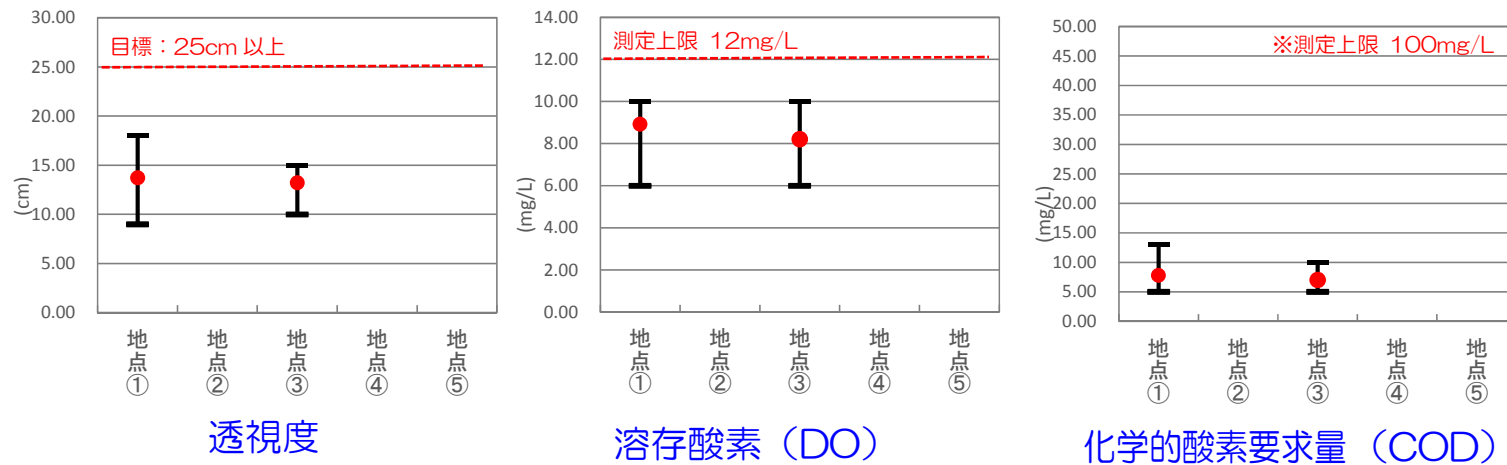
各調査地点の調査人数



アンケート調査の結果



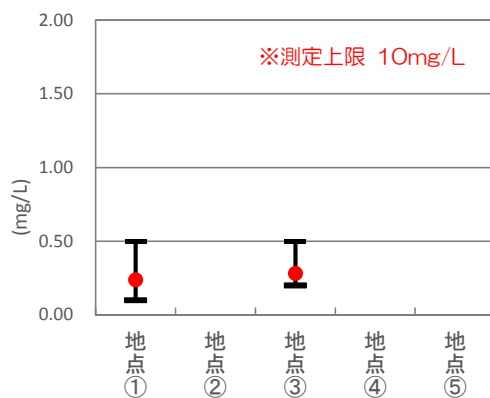
簡易水質調査の結果



透視度（水の透明さの程度）の平均値は 13.48cm で、目標の 25cm には届きませんでした。

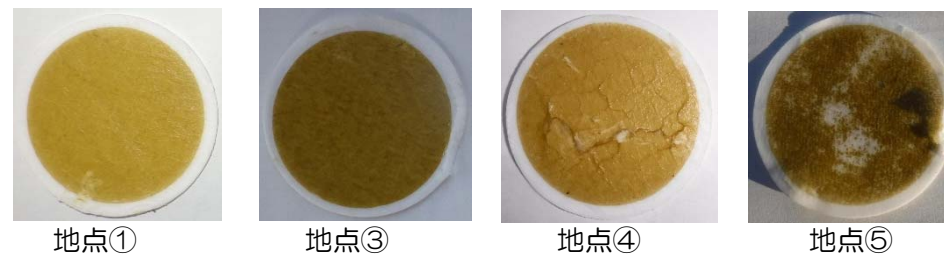
生物の生息に必要な、水に溶けている酸素の量 (DO) は、簡易測定で平均値は 8.2~8.92mg/L でした。

有機物による水の汚れの程度を表す COD は、簡易測定で平均値は 7.0~7.8mg/L でした。



クロロフィルの簡易確認

注射筒とろ紙を使って、200mLの水をろ過しました。ろ紙の色は、いずれの地点も茶色がかかった緑色になりましたが、地点によって若干異なりました。



アンモニア態窒素 (NH₄-N)

生物の死がいなどが分解されてできるアンモニア態窒素の平均値は、簡易測定で 0.24~0.28mg/L でした。

河川管理者（静岡県）による測定結果

測定項目	SS (mg/L)	濁度 (度)	クロロフィル a (μg/L)	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)	溶存酸素 DO (mg/L)	化学的酸素要求量 COD (mg/L)	アンモニア態窒素 NH ₄ -N (mg/L)
調査地点①	22	26	170	6	14.5	8.6	0.07
調査地点②	-	-	-	-	-	-	-
調査地点③	20	27	200	6	14.1	9.9	0.03
調査地点④	20	25	190	<1	14.0	9.2	0.04
調査地点⑤	21	25	150	6	14.4	8.6	0.03

溶存酸素 (DO)、アンモニア態窒素 (NH₄-N) はおもに底のほうにすむ生物がすみやすい環境であるかを調べるため、底層の水を採取して調べています。

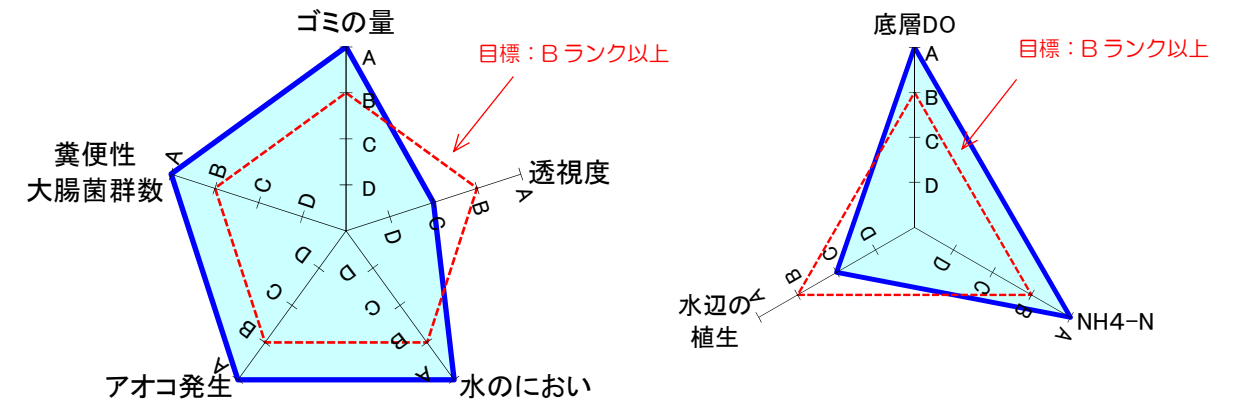
河川管理者（静岡県）による測定結果

水生生物の採取

ペットボトルで作ったしかけやタモ網を使用して、水辺にすむ生物の調査を行いました。調査を行ったのは地点②⑤の2地点です。今回の調査では、水生生物の採取はありませんでした。

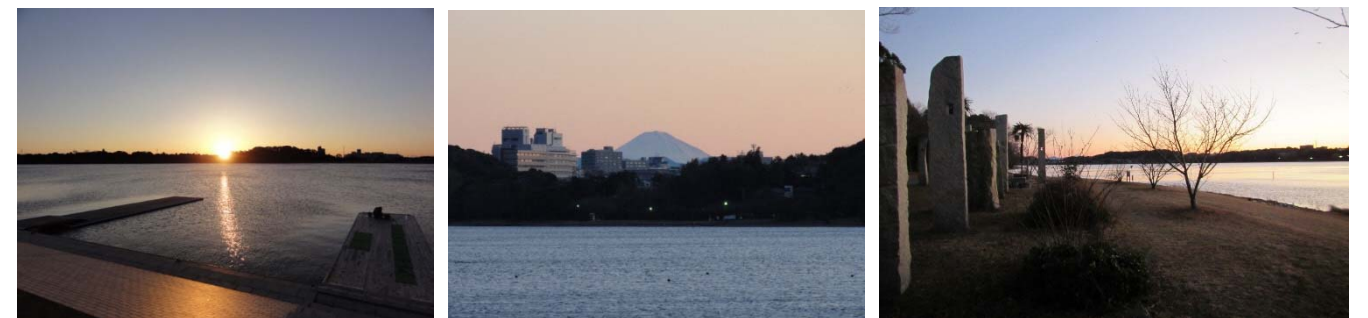
湖沼における新しい水質管理指標（案）による評価

みなさんの調査の結果と河川管理者（静岡県）による測定結果を、平成 22 年度に国土交通省より発表された評価方法で評価しました。下のグラフは、今回調査した4地点の評価を項目ごとに平均したものです。佐鳴湖の当面の目標は、すべての項目でBランク以上になることです。今回「透視度」、「水辺の植生」がCランクとなり、目標は達成できませんでした。Aランクの数は、のべ22項目のうち18項目（全体の82%）でした。



おわりに

寒波押し寄せ中、ご参加いただきありがとうございました。みなさんに積極的に調査を実施いただき、違う季節にも参加してみたいというご感想もいただきました。次回の調査は、来春を予定しています。皆さまのご参加お待ちしております！



この調査結果の詳細については、こちらまでお問い合わせください。

お問い合わせ先：佐鳴湖地域協議会

（事務局）静岡県浜松土木事務所 企画検査課（053-458-7266）